

千葉大学COEスタートアッププログラム  
「代謝変換プログラムの生体制御への応用」主催

## セミナーのお知らせ

演題：食餌タンパク質によるインスリン受容体シグナルの修飾

演者：加藤 久典 先生  
(東京大学 教授)

日時：平成21年11月13日(金) 午後5:00～  
場所：園芸学部 E棟 205 教室

要旨：

私たちは、タンパク質栄養状態が悪化すると、インスリン受容体の情報伝達経路の感受性が上昇することを見出している。例えば無タンパク質食の摂食により、筋肉のインスリン受容体基質(IRS-1)のセリンリン酸化が低下してチロシンリン酸化が上昇すること、肝臓ではIRSの量が顕著に増加することなどである。摂取するタンパク質をうまく調節することが糖尿病予防の一助となる可能性について議論したい。



世話人：応用生命化学科 食品栄養学 江頭 祐嘉合 (内線8861)